

5年生 11月の活動

家庭科「整理・整とんで快適に」

「ごみが散らばっている」「物が乱雑に置かれている」などの状態では、物が無くなったり、けがをしたりする恐れがあることから、改めて「整理」「整とん」の大切さに気付きました。「不要なものを分別して捨てる」「置き場所を決める」などのポイントに気を付けながら、実際に自分の道具箱を整理・整とんしたり、自分の家でできることにも取り組んだりしました。活動を終えて子どもたちから「整理・整とんをすると気持ちがいい。」「物が取りやすい。」「前よりも便利になった。」「楽しかった。」などの感想がありました。学習したことを日常でも生かして行って欲しいと思います。



四つのポイントの内、置く場所を決めることだけ意識できなかったですが、おおむね綺麗に片づけられてよかったです。これからも四つのポイントを守って、道具箱や身の回りのものを綺麗な状態にしていこうと思います。また、四つのポイントは、ものを片付けるのにとても役立つと思いました。

児童の学習感想

まなびの教室 「見たままスピーチ」

机に数十枚の国旗カードを広げます。出題者はお題となった国旗カードについて、ついたての裏から言葉だけで説明をします。回答者は出題者の言葉をよく聞いて、お題のカードを見つけます。

出題者が国の名前を知っていても、回答者が知らないかも知れないので、国の名前を言うてはいけません。あくまでも国旗のデザインを伝えます。手がかりとして「色」「形」「大きさ」「位置」「向き」「数」などを使って説明をするのですが、出題者は言葉だけではうまく伝えられなくてもどかしい思いをすることがあります。よりわかりやすく伝えるためにはどのような言葉を使えばいいの、どのように話せばよいのかを考えて説明する必要があります。

この活動を通して「聞き手を意識して話す力」や「わかりやすい言葉をえらぶ力」などが身に付くことを期待しています。



【児童のスピーチ】
「私が見ている国旗は、赤と青と白が入っています。赤が多いですが、左上に青があります。青い四角の中に白い星があります。星は5つあります。これで終わります。」